



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社サンセイラディック 上場取引所 東
 コード番号 3277 URL <https://www.sansei-l.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理管掌 (氏名) 永田 武司 (TEL) 03-5252-7511
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	9,109	9.0	689	74.3	631	116.4	402	120.8
2020年12月期第2四半期	8,354	8.5	395	△50.0	291	△61.1	182	△61.5

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 402百万円(120.8%) 2020年12月期第2四半期 182百万円(△61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	48.37	48.15
2020年12月期第2四半期	21.58	21.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	18,425	10,093	54.8
2020年12月期	20,070	10,066	50.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 10,089百万円 2020年12月期 10,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年12月期	—	0.00			
2021年12月期(予想)			—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,385	3.4	919	8.5	762	7.5	505	41.3	59.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	8,472,300株	2020年12月期	8,468,300株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	229,942株	2020年12月期	29,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	8,325,832株	2020年12月期2Q	8,449,207株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,109百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益689百万円（前年同期比74.3%増）、経常利益631百万円（前年同期比116.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益402百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

① 不動産販売事業

不動産販売事業の売上高は8,605百万円（前年同期比15.8%増）となり、セグメント利益は1,279百万円（前年同期比34.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び仕入実績は次のとおりであります。

i 販売実績

区分	件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
底地	170	+31.8	4,731	+102.8
居抜き	27	△27.0	3,444	+11.9
所有権	3	△62.5	237	△86.6
その他の不動産販売事業	—	—	191	△23.5
合計	200	+14.9	8,605	+15.8

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間取引については相殺消去しております。

3. 「件数」については、売買契約の件数を記載しております。

4. 底地・居抜き・所有権の「区分」については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。

販売におきましては、所有権の販売は減少いたしました。底地及び居抜きの販売が増加したことにより売上高は前年同期比で増加いたしました。

ii 仕入実績

区分	区画数	前年同期比(%)	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
底地	213	+10.9	2,126	△33.2
居抜き	42	+55.6	2,299	△47.9
所有権	3	△62.5	65	△95.5
合計	258	+13.7	4,491	△50.4

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。

3. 底地・居抜き・所有権が混在する物件の「区分」については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

仕入におきましては、全ての区分において仕入が減少し、仕入高は前年同期比で減少いたしました。

② 建築事業

建築事業の売上高は503百万円（前年同期比45.4%減）となり、セグメント損失は63百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び受注実績は次のとおりであります。

i 販売実績

件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
77	△13.5	503	△45.4

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 「件数」については、受注契約の件数を記載しております。
 4. 「件数」・「売上高」につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおりません。

販売におきましては、期首の繰越工事の減少により、売上高は前年同期比で減少いたしました。

ii 受注実績

受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
847	+54.5	800	+23.2

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

受注におきましては、期首の受注残高が減少したものの、受注高、受注残高ともに増加いたしました。

なお、2021年8月12日公表の「子会社の不適切な取引に関する調査結果及び今後の対応方針について」の「4. 連結財務諸表に与える影響」に記載の通り、当第2四半期決算において必要な会計処理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,669百万円減少し、17,371百万円となりました。これは、主に売掛金の増加144百万円、販売用不動産の減少1,838百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ23百万円増加し、1,054百万円となりました。これは、有形固定資産の減少16百万円、無形固定資産の減少7百万円、投資その他の資産の増加47百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,767百万円増加し、7,540百万円となりました。これは、主に短期借入金の減少163百万円、流動負債その他の減少61百万円、1年内返済予定長期借入金の増加1,805百万円、未払法人税等の増加193百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ3,440百万円減少し、792百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少3,395百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ26百万円増加し、10,093百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加191百万円、自己株式の増加167百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、3,661百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,110百万円(前年同期は3,683百万円の支出)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益635百万円、たな卸資産の減少額1,831百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額144百万円、その他の資産の増加額90百万円、その他の負債の減少額92百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は26百万円(前年同期比17百万円増)となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入22百万円、賃貸不動産の売却による収入18百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出30百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円、差入保証金の差入による支出17百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2,129百万円(前年同期は3,021百万円の収入)となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入483百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の減少額163百万円、配当金の支払額210百万円、長期借入金の返済による支出2,073百万円、自己株式の取得による支出167百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月14日に発表した業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,329,998	4,281,457
売掛金	102,428	246,734
販売用不動産	14,424,958	12,586,506
未成工事支出金	4,214	10,734
貯蔵品	2,780	3,231
その他	182,702	251,638
貸倒引当金	△6,798	△9,113
流動資産合計	19,040,284	17,371,189
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	303,851	289,841
減価償却累計額	△60,878	△62,761
賃貸不動産(純額)	242,972	227,079
その他	63,312	62,702
有形固定資産合計	306,285	289,782
無形固定資産	68,786	61,080
投資その他の資産		
その他	696,530	744,479
貸倒引当金	△41,121	△41,121
投資その他の資産合計	655,408	703,357
固定資産合計	1,030,480	1,054,219
資産合計	20,070,765	18,425,408
負債の部		
流動負債		
買掛金	355,898	349,850
短期借入金	4,262,650	4,099,550
1年内返済予定の長期借入金	200,000	2,005,000
未払法人税等	55,720	249,070
その他	897,852	836,569
流動負債合計	5,772,121	7,540,041
固定負債		
長期借入金	3,878,950	483,000
その他	353,170	309,114
固定負債合計	4,232,120	792,114
負債合計	10,004,241	8,332,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	818,435	819,891
資本剰余金	779,435	780,891
利益剰余金	8,464,641	8,656,380
自己株式	△152	△168,014
株主資本合計	10,062,359	10,089,148
新株予約権	4,164	4,104
純資産合計	10,066,523	10,093,252
負債純資産合計	20,070,765	18,425,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	8,354,494	9,109,217
売上原価	6,423,081	6,777,262
売上総利益	1,931,413	2,331,954
販売費及び一般管理費	1,535,909	1,642,724
営業利益	395,504	689,229
営業外収益		
受取利息	85	39
受取配当金	52	51
業務受託料	6,702	7,204
助成金収入	—	4,390
貸倒引当金戻入額	4,875	—
その他	3,085	8,810
営業外収益合計	14,801	20,496
営業外費用		
支払利息	70,134	57,767
支払手数料	28,805	7,097
その他	19,720	13,614
営業外費用合計	118,661	78,478
経常利益	291,644	631,247
特別利益		
固定資産売却益	—	3,807
特別利益合計	—	3,807
税金等調整前四半期純利益	291,644	635,054
法人税等	109,289	232,356
四半期純利益	182,354	402,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,354	402,698

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	182,354	402,698
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	182,354	402,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,354	402,698
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,644	635,054
減価償却費	24,217	21,664
固定資産売却損益(△は益)	—	△3,807
受取利息及び受取配当金	△137	△90
支払利息	70,134	57,767
営業外支払手数料	28,805	7,097
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,524	2,315
売上債権の増減額(△は増加)	△60,048	△144,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,415,618	1,831,480
仕入債務の増減額(△は減少)	△106,737	△6,047
その他の資産の増減額(△は増加)	135,161	△90,421
その他の負債の増減額(△は減少)	△199,996	△92,660
その他	△34	171
小計	△3,237,134	2,218,215
利息及び配当金の受取額	144	87
利息の支払額	△79,944	△63,532
営業外支払手数料の支払額	△28,805	△7,097
法人税等の支払額	△338,253	△43,237
法人税等の還付額	1	6,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,683,992	2,110,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△29,606	△30,307
定期預金の払戻による収入	26,000	22,800
有形固定資産の取得による支出	△2,533	△6,279
有形固定資産の売却による収入	136	—
無形固定資産の取得による支出	△2,273	△13,980
賃貸不動産の売却による収入	—	18,899
差入保証金の差入による支出	△1,006	△17,913
差入保証金の回収による収入	18	—
その他	△45	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,309	△26,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△657,868	△163,100
長期借入れによる収入	4,058,400	483,000
長期借入金の返済による支出	△192,500	△2,073,950
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,556	2,852
自己株式の取得による支出	—	△167,862
配当金の支払額	△194,668	△210,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,021,919	△2,129,728
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△671,383	△46,048
現金及び現金同等物の期首残高	3,958,686	3,707,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,287,303	3,661,376

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結会計期間末までに自己株式200,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が167,862千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が168,014千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,431,059	923,435	8,354,494	—	8,354,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,040	34,682	35,722	△35,722	—
計	7,432,100	958,117	8,390,217	△35,722	8,354,494
セグメント利益又は損失(△)	953,571	△424	953,147	△557,642	395,504

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△557,642千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,605,330	503,886	9,109,217	—	9,109,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,636	10,887	12,523	△12,523	—
計	8,606,967	514,773	9,121,740	△12,523	9,109,217
セグメント利益又は損失(△)	1,279,846	△63,545	1,216,300	△527,071	689,229

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△527,071千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。